

2 月号
VOL. 469

土會奈良



SHIKAI

2013 NARA

表紙のことば

K 邸



大正14年に建てられた西洋風外観を持つ邸宅の中の茶室である。この建物は平成19年に登録有形文化財になっている。

曾祖父が事業をされていた関係で来客も多く、当時は折に触れて茶室が使用されていたそうで、昭和6年に茶事を行った記録が残っているとのことである。

茶室は4畳半本勝手の席である。控えの間として使用されたい座敷とは庭を一望できる縁側でつながっている。庭は木々を背にせせらぎが流れ、山里の風情を湛えている。

茶室は縁側に面して貴人口が設けられ、雪見障子と4枚引違ガラス戸が並ぶ。ガラス戸の上の下地窓の欄間からも光が差し込み、とても明るく開放的である。

床柱と落掛はさるすべり、床框は古材を用いている。床脇には地袋付の違い棚があり、松材の棚板は向かって右が扇形、左が三角形で意匠されている。落掛を用いず、塗回して納めているため違い棚の直線と相まってすっきりした印象となっている。床の間の墨跡窓からの陽が火灯形に開けられた狝潜りを通して床脇に届けられる。

平天井の竿縁、掛込天井のタルキ等、華奢に仕上げられており、瀟洒な雰囲気が醸し出されている。

(記・女性委員会 青木順子)

情報・広報委員会

委員長 福西 保夫

副委員長 田上 圭吾 松尾 憲治

委員	乾井 哲	岩城由里子
	鵜山 治	折目 貴司
	小松原寛俊	崎山 泰正
	辻 元二	福本 保治
	宮浦 重彦	森馬 康之

Contents

001

「平成25年 新年名刺交換会及び景観
調和デザイン賞表彰式ーレポートー」

002

住宅相談部会

「現地相談・設計監理・施工業者・
耐震診断 ホームページ掲載名簿
登録希望者募集!!」

003

奈良県農林部

「こんにちは、
奈良の木ブランド課です」

004

青年委員会

「奈良県地域認証材について」

005

「なら・まちづくりコンシェルジュ」

007

「木造建築の魅力と可能性に関する
研修会」レポート

008

お知らせ

「平成24年度一級・二級・木造建築士
試験合格者」他



平成25年 新年名刺交換会及び 景観調和デザイン賞表彰式—レポート—

平成25年1月11日(金) 17:00～ 奈良ホテルにて



奈良県
副知事：稲山一八氏

今回のデザイン賞は「文化・まちなみ・環境面で上手く選ばれている。奈良にこのような作品が増えて欲しい。高齢化による建物の老朽化対策についてファミリーマネージメントの必要性などあるが、奈良は発展する余地があるので質の高い建物をつくって外から見て奈良は良いところとと思っていただくよう取り組もう」と挨拶。

第15回奈良県景観調和デザイン賞表彰式 受賞者の方々



知事賞
東大寺総合文化センター
施主：東大寺
設計：(株)建築研究所アーキビジョン
施工：(株)大林組
三和建設(株)
(株)ゴゼケン



会長賞
奈良町宿 紀寺の家
施主：藤岡氏
設計：藤岡建築研究所
施工：ヒロタ建設(株)
(株)ツキデ工務店



奨励賞
第162母屋天理敦河原町
大教会信者詰所
施主：天理教
設計：(株)竹中工務店
施工：(株)竹中工務店



審査委員長賞
櫛羅の家
施主：田中氏
設計：田中氏
施工：(株)YOSHIKAWA

受賞作品がパネル展示される予定	
日程(予定)	展示会場
1月25日(金)～30日(水)	生駒市役所
2月1日(金)～6日(水)	やまと郡山城ホール
2月8日(金)～13日(水)	南都銀行天理支店
2月15日(金)～20日(水)	桜井市役所
2月22日(金)～27日(水)	橿原市役所
3月1日(金)～6日(水)	美榛苑
3月8日(金)～13日(水)	奈良県産業会館
3月15日(金)～20日(水)	南都銀行五条支店
3月22日(金)～27日(水)	大淀町文化会館
3月29日(金)～4月3日(水)	奈良市美術館



(社)奈良県建築士会
会長：福本良平氏

4月1日より一般社団法人としてスタート。士会連合会より1級建築士のなりすましの防止策として身分証明となるカード型免許証明書の推進。低炭素建築物の認定制度や省エネ基準の適合義務化等について紹介され、最後に、「魅力あるまちづくりへのコラボレーションを目指そう」と挨拶。

審査委員長 出江 寛氏⇒

・奈良の本質をわきまえて
つくろう
・奈良の町並みにはケミカルな建物は合わない
・寺や神社は沈黙している。
沈黙は人の心を癒す



行政・NPO等・大学・士会と連携による景観まちづくり

今回、県景観調和デザイン賞表彰式は、奈良県稲山副知事を始めとする特定行政庁の方々、審査員（出江寛氏、岩井珠恵氏、奈良TV辻本社長、県くらし創造部影山部長、奈良女子大増井教授）、受賞者の皆様、関係団体、賛助会の皆様、士会会員 計108名の参加により、新年名刺交換会に合わせ開催されました。今後も、県民に広く呼び掛け、3月9日には、審査委員をいただいた奈良女子大学の増井先生にお願いし、「受賞者による発表会」「各町家地域での調査活動発表&卒業研究発表」を聞いていただき、景観まちづくりについての講演をしていただきます。そして、半年間で60時間の講習を修了した文化財建造物専門家育成講習会受講者に修了証が手渡されます。また、2月9日には、「近畿あーきてくと」にて、なら・まちづくりコンシェルジュ(士会奈良連載中)の高田さん(県住宅課)が、コミュニティアーキテクトの必要性について、県内町家地域での取り組み(例：まちづくりマップ・HANARART・町家バンク・大学と景観まちづくりWS等)を交えながら発表されます。詳しくは1月号もしくは別紙同封のチラシをご覧ください。是非、皆さんお声掛けの上で参加ください。

(記・情報広報担当 中尾)



住宅相談部会より 現地相談・設計監理・施工業者・耐震診断 ホームページ掲載名簿 登録希望者募集!!

一般の方々が、住宅の新築や、増改築・リフォームなどを計画する際、いろいろと迷われる事も多いかと思います。また、地震のニュースを聞く度に、耐震に関しても不安を増されるようです。

実際、奈良県建築士会で行なっています住宅相談の時に、設計や施工そして耐震に関しての相談を誰にすればいいの、また誰か紹介してもらえないか等の依頼を受ける事がよくありました

しかし建築士会としては、一人の建築士を紹介するという事は出来かねました。そこで建築士会のホームページに、住宅を得意とする建築士の方々に、掲載名簿にご登録いただき、その建築士の個々のプロフィールを掲載する事で、少しでも詳しい情報の提供が出来るかと企画致しました。

一般の方々には、建築士の個々のプロフィールを閲覧していただき、その中から依頼しようとされる目的に合う建築士を選択後、ご自分で該当の建築士に直接電話で依頼していただこうと考えております。

■募集内容

今回登録を募集する名簿は、下記の①～④の4分野です。

- *①は追加募集で、既にホームページに掲載中です。
- *②～④は新規募集で、名簿の掲載の方法は、①と似たような表現になるかと思ひます。

- ① 現地相談 現地に赴き各種相談に対応出来る建築士
- ② 設計監理 住宅の設計監理を得意としている建築士
- ③ 施工業者 住宅関連の施工を得意としている建築士
- ④ 耐震診断 木造住宅の耐震診断をおこなえる建築士

■募集要項等

- *建築士会員であり、CPD登録をしている建築士。
- *①の現地相談に関しては、年齢制限を40才～69才の方とします。
- *④の耐震診断に関しては、既存木造住宅の耐震診断に関する補強方法講習会 の受講修了者
- *登録希望の建築士自身が、実際の業務にあたれる事
- *企業に所属する方は、個人の活動が業務にあたる為、その所属する企業の承諾が得られる事
- *登録費用は無料としますが、業務が成果した際には、掲載事務費の協力をお願い致します。
- *士会が登録者を推薦する仕組みではありません。
- *募集締め切り 2月15日
- *応募方法 士会事務局迄、下記の登録希望者記入用紙で、FAXで申込み

*プロフィールの書き込みに関しては、後日登録希望者宛てに、メールにてご案内致しますので、2月28日迄にメールにて返信をお願い致します。

*ご不明な点は、士会事務局までお問い合わせ下さい。

(社)奈良県建築士会

TEL 0742-30-3111

FAX 0742-33-4333

jimukyoku3@nara-kenchikushikai.or.jp

(住まいまちづくり委員会 住宅相談部会)

＜登録希望者記入用紙＞

(社)奈良県建築士会 宛

平成25年 月 日

FAX : 0742-33-4333

*参加する分野の □に✓チェックを入れて下さい

- ☐ ①現地相談
- ☐ ②設計監理
- ☐ ③施工業者
- ☐ ④耐震診断

*氏 名 _____

*電話番号 () _____

*FAX番号 () _____

*支 部 名 _____ 支部

*CPD登録番号 _____

*メールアドレス _____

@ _____



奈良県農林部

こんにちは、奈良の木ブランド課です

かねてより、吉野材をはじめとした県産材は建築業界で高い人気を博していたものの、長引く景気の低迷や建築様式の変化等によりその需要量は落ち込み、林業・木材産業は厳しい状況にあります。

このような現状を打開し、県産材の利用拡大を図るため、平成24年4月に、「奈良の木ブランド課」が誕生しました。

県産材は今も変わらず優れた品質や美しさ(木目・年輪)を持っています。中でも、建築物の構造に大きく影響するヤング係数を比較した場合、スギの全国データではE70を示すものが多くなっているのに対し、県産材は大半がE90以上を示しています。県産材が他県産材と比較して、年輪幅が狭くなっていることは美しいだけでなく、強度に優れている裏付けであるとも言えます。

当課では、このような県産材の良さを実感してもらい、住宅や公共建築物、建物の内装デザインの他、身近な道具等に使用してもらうため、以下の取り組みを進めています。主な取り組みは、

【県産材であることの産地認証制度や 品質保証制度の推進】

「県産材」であることの産地認証制度とは、奈良県内において伐採、生産された原木～製品が奈良県産であることを証明する制度です。また、品質保証制度とは、強度や含水率について一本ずつ機械で測定し、一定の品質基準を満たしていることを証明する制度です。これら両方の基準に合格したものが「奈良県地域認証材」となります。

【公共建築物への木材利用の推進】

県産材の良さを生かした公共建築物を増やしていくため、平成24年3月に「公共建築物における“奈良の木”利用推進方針」を策定しました。県有施設をはじめとした様々な公共建築物の木造・木質化を推進することで、県民が県産材と触れあい、県産材の良さを実感する機会を増やし、一般の建築物への利用拡大に繋げていきたいと考えています。



(県産材を使用した住宅)



(十津川村中学校 生徒用玄関)

【県産材を利用した土産物の開発や木製品の商品化】

奈良を訪れる観光客がみやげ物を選ぶ基準として、「奈良らしいもの」や、「奈良でしか手に入らないもの」という意見が多い一方、そういった物が少なく、観光客のニーズに応えられていないのが現状です。そこで、木目や色つやの美しい「奈良の木」の特徴を活かした土産物や、地元の方にも身近に感じていただけるような日常生活で使える木製品の開発に取り組んでいます。今後も、様々なアイテムの開発及び開発支援を継続していきます。



(木製ボールペン&シャーペン)

(吉野杉の
ランチョンボード)



奈良の木ブランド課からの情報は、随時メールで配信させていただきます。メールアドレス登録方法等は、奈良県庁の同課ホームページに掲載しておりますので、ご登録をお願いします。

(記・奈良県農林部 奈良の木ブランド課 本間美樹)



青年委員会 奈良県地域認証材について

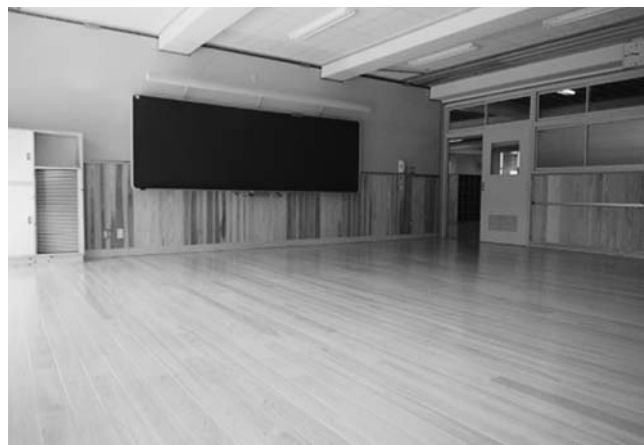
奈良県地域認証材（床材・壁材・天井材）が出来ました。

奈良県では、古くから「吉野林業」と呼ばれる全国的にも最高品質の優良な木材を育てる林業が発達してきました。この素晴らしい木（杉・桧）をさらに活かそうと、乾燥・加工精度に徹底的にこだわった内・外装材を製造出来るようになりました。



〈奈良県地域認証材（床材・壁材・天井材）カタログ〉

平成22年10月1日に施行された、木材の利用の確保を通じた林業の持続的かつ健全な発展を図り、森林の適正な整備及び木材自給率の向上に寄与する為に、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」により、県内でも多くの学校・老人ホーム・保育所・病院など公共建築物に奈良県産材の杉・桧が使用されております。



〈桜井市立桜井小学校 教室の木質化〉

公共建築物では一般住宅とは違い、数多くの構造材や内・外装材が必要となりますが、当初奈良県地域認証材センターが認証を行っているのは、厳しい含水率・強度表示（ヤング係数）・目視による等級分けされた、構造材のみでした。

奈良県から木材協同組合連合会に公共建築物や一般住宅向けの内・外装材木材カタログ作成の依頼がありカタログ

作成に向けて取り組みを行い、今に至っております。

この、奈良県地域認証材（床材・壁材・天井材）ですが、内・外装材の分野で求められる最も重要な品質は、乾燥度合（含水率）です。寸法が小さくなったり、施工後の曲がりや反りなどの発生を抑えるには、木材を十分乾燥させることが必要です。含水率を15%以下に乾燥させることにより、木材の寸法変化は起こりにくくなります。

しかし、乾燥方法が悪いと、木の持つ耐久性や香り・色艶が失われることがあります。

奈良県地域認証材（床材・壁材・天井材）は、自然乾燥と人工乾燥の組み合わせにより、奈良県産材の持つ香りや色艶の良さを残しながら、全ての木材を含水率計で測定し、含水率が15%未満（一部除く）の基準をクリアし、奈良県地域認証材センターが認証した、信頼できる材料になっています。



〈奈良県地域認証材：ヒノキ床材 節ありエンドマッチ加工〉

設計・施工して頂く方にわかりやすいように、すべての商品に品番と設計㎡単価・並びに加工形状を記載し、節の有無や大きさなども明確に表示しております。床材・壁材・天井材は、奈良県内で一番多く生産されている寸法に合わせて規格を統一しております。寸法を規格化することにより、県内の生産工場が団結して、安定して材料を供給できます。

また、杉・桧の不燃処理・準不燃処理も県内外の工場と業務連携を結ぶことができ、更なる需要が見込まれると確信しました。

奈良県地域認証材（床材・壁材・天井材）のカタログ作成を行い、数多くの方々が、地域の森林資源を守り、有効に活用し、奈良県の木材に熱い思いがあるということを改めて感じました。最後になりましたが、ご多忙中のところご意見、ご協力を頂きました皆様方には深く感謝申し上げます。

（記・桜井支部 吉田敦彦）



連載 PART 6

なら・まちづくりコンシェルジュ

1. はじめに

なら・まちづくりコンシェルジュが関わっている地域のまちづくり活動の様子について紹介します。今回は、コンシェルジュが「なかだち」して地域団体と早稲田大学とをつないだ「桜井市初瀬地区」での取組を紹介します。また、活動を通じて感じている地域の建築専門家（コミュニティ・アーキテクト）の必要性も考察します。

2. 桜井市初瀬地区とはこんなところ

桜井市初瀬地区は、大和盆地東部に位置する長谷寺の門前町で、「隠口の国」と呼ばれ、平安時代には貴族の長谷寺詣が盛んとなり、まちは伊勢参りとともに鎌倉末期から室町時代に門前町、宿場町としての姿をなしてきました。

山々に囲まれ、初瀬川が流れる風景は昔も今も変わらず、僕も初瀬に行く度に心地良い囲まれ感を味わいます。現在も門前筋を中心に伝統的な町家が多く残っているものの、観光客の減少、住民の高齢化、空き家の増加等の課題があります。

3. NPO法人泊瀬門前町再興フォーラムとコンシェルジュ

初瀬地区で活動するNPO泊瀬門前町再興フォーラムは、地域に密着した奉仕活動と歴史的環境の保全を図りつつ活性化する事業を行い、にぎわいを取り戻し、住みやすいまちづくりに寄与することを目的に平成17年に設立されました。

コンシェルジュとの出会いは、平成19年11月にNPO理事が訪問されたことに始まります。以来NPOが実施する事業をサポートしてきました。まずはじめに協働でまちづくりマップを作成して、NPOとの信頼関係を築いていく中、次の展開として「まちづくり拠点整備事業」と「早稲田大学と奈良県との連携事業」を提案しました。



〈初瀬地区のまちづくりマップ〉

4. 早稲田大学と奈良県との連携事業

早稲田大学と奈良県は、平成20年12月に包括連携協定を締結し、テーマを選定して事業を行っていくことになりました。テーマの1つが「初瀬門前町における景観まちづくりの推進」で、

元日本建築学会会長でもある早稲田大学佐藤滋先生に関わっていただき、地元窓口のNPO、桜井市を含む4者での取組がスタートしました。以下、平成21年度より3年間行われた連携事業の取組をご紹介します。

■取組紹介「1. 地域住民とのワークショップ」

まちの資源の活用や課題解決のための方策について検討するアイデア旗さしワークショップや、門前町とその周辺の山や川を含んだ1/200スケールのジオラマ模型を使った景観シミュレーションなど、模型を用いたワークショップなどを通して、地域住民とのまちづくりの目標イメージの共有を図りました。



〈早稲田大学による地域住民とのワークショップ風景〉

■取組紹介「2. まちづくりビジョン・アクションプログラム」

初瀬地区が目指すまち、そのための行動計画など、ワークショップで共有したものを形にして地域住民へ配布しました。

■取組紹介「3. 空き町家を活用したイベント」

10月の初瀬まじりの時期に合わせ、空き家となっている町家を一軒借り、宿泊体験・町家活用提案・意見交換などを実施しました。まつり期間中は町家開放を行い、中に入って魅力を感じてもらうとともに、初瀬のまちのジオラマ模型や活動紹介パネルの展示などを行い、活動の周知を図りました。



〈空き町家でのジオラマ模型の展示〉

桜井市初瀬地区における早稲田大学との連携によるまちづくり ～活動を通じた地域の建築専門家の必要性の考察～

■取組紹介「4. 大和・町家バンクネットワークとの連携」

県内町並み地区の空き町家活用の取組「大和・町家バンクネットワーク」と連携して地区内の町家調査を実施しました。情報をネットワークのHPに掲載したところ、Y邸の所有者と新規入居者のマッチングにつながりました。

■取組紹介「5. 歴史スポット整備の社会実験」

長谷寺の玄関口に位置する広場「さくらんぼ（桜の馬場）」には、多くの看板が乱立していました。そこを住民の手で整備する社会実験を実施しました。当日は初瀬川の清掃、わらしべラリーなどのイベントも行われました。



〈さくらんぼでの社会実験の様子〉

■取組紹介「6. 初瀬門前町景観まちづくりの会の設立」

ワークショップなどを通じて参加意識を持たせるとともに、まちづくりの目標イメージの共有を図るために一定の時間をかけて検討したのちに、地元主体の組織「初瀬門前町景観まちづくりの会」が平成24年2月に設立されました。

■取組紹介「7. 空き町家を活用したコミュニティ拠点整備」

新たに設立された一般社団法人泊瀬の森は、元食堂で事務所にも使用されていた空き町家を、(財)民間都市開発推進機構の住民参加型まちづくりファンド、県のまちづくり拠点整備事業制度を活用し、トイレ、休憩所、地元観光物産販売を備えたカフェで、地域のコミュニティ拠点「泊瀬長者亭」として整備し、平成24年11月より運営開始しました。



〈コミュニティ拠点「泊瀬長者亭」〉

5. 成果と課題

以上の取組を行った成果と課題について、大きく3つ挙げることができます。1つ目は、3年前と比べて地域の景観まちづくりに対する機運が飛躍的に上がったことです。ただし、初瀬の景観まちづくりはまさに始まったばかり。2つ目は、事業を行う中でNPOの他(株)みらくや泊瀬の森、さくらんぼ倶楽部などまちづくり市民事業の担い手が登場したことです。ただし、自律的に活動を行うには至らず専門家等のサポートがいる状況です。3つ目は、木工作家や自然農のご夫婦など新住民の移住と泊瀬長者亭や「やまとびとこころの店」などのモデル的な空き町家の活用です。一方で、今後どのように町家活用を波及させるかも課題です。

成果と課題

- | | |
|-----|------------------------|
| 成果1 | 景観まちづくりに対する機運が飛躍的に上がった |
| → | ただし、景観まちづくりはまだ始まったばかり |
| 成果2 | まちづくり市民事業の担い手の登場 |
| → | ただし、自律的活動を行うには至らず |
| 成果3 | 新住民の移住、モデル的な空き町家の活用 |
| → | 今後、町家活用をどう波及させるか |

6. 考察（地域の建築専門家の必要性について）

これからのまちづくりは、丁寧に地道に現場に寄り添って、地域住民・団体、専門家、行政が力を結集して計画を作って事業を生み出し実践することだと考えています。

初瀬地区では、早稲田大学のサポートを受けながら、住民自らが地域の問題に立ち向かい、資源を活かしつつ問題解決する取組を行ってきました。しかし課題で述べたように、まだ景観まちづくりは始まったばかりです。先進的なノウハウやスキルをきちんと受け止めて協働して事業を生み出す、専門的な立場で支援する地域の建築専門家（コミュニティ・アーキテクト）の必要性を感じています。初瀬地区以外にも県内には楽しいな地区が多くあり、ネットワークでつながっています。建築士の皆様方におかれましては、地域の建築専門家として積極的に参加し貢献されることを期待しております。

考 察

＜これからのまちづくりのあり方＞

丁寧に地道に現場に寄り添って、地域住民・団体、専門家、行政が力を結集して、計画を作って事業を生み出し実践する

（早稲田大学等先進的なノウハウ、スキルをきちんと受け止めて）
住民・団体、行政とともに協働して事業を生み出す

「地域の建築専門家（コミュニティ・アーキテクト）の力が不可欠」

【記：なら・まちづくりコンシェルジュ

（奈良県土木部まちづくり推進局住宅課 主査 高田大輔）

（参考）「なら・まちづくりコンシェルジュ」HP

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-22502.htm



「木造建築の魅力と可能性に関する研修会」レポート

県産材の利用拡大に向けて

去る11月30日、桜井市木材振興センターあるぼーで「奈良の木」利用推進の一環として、奈良県の林業の現状や最新のエンジニアウッドについての説明、東海大学教授杉本洋文氏による講演会が行われた。

奈良県地域認証材について

奈良県の木材のブランド力を高めるため伐採時の産地認証および加工時の品質保証を経て地域認証材として認証し、認証されたものについては統一価格での販売を行っている。この運動には現在26社が参加している。

性能保証についてはヤング率の全数検査による保証と含水率20%以下までの乾燥を行っている。また、集成材の場合はJAS認定工場で加工され、60%以上に県産材を用いることを条件としている。

木材の性能の安定化と基準化は設計を行う上で大きな安心感を生む。設計者に「奈良の木を使えば安心」と思わせることは非常に大きな意義がある。

不燃木材について

不燃木材はホウ酸系、またはリン酸系の薬剤で不燃処理を施した木材であり、内装制限がかからないため意匠の自由度が高まるという利点がある。一方、欠点も数多くあり特に吸湿性が上昇することで白化現象や結露、加工性、接着性の悪化を招く。

現状、不燃木材は高コストかつ加工性の低い木材であり、意匠上のアクセントとして使うのが妥当であり、大量の使用には適さない。

内装制限のかからない木材は大規模な公共施設等で積極的に木を使っていく上でかなり有効である。不燃木材を積極的に活用していく上では加工性やコスト面で無処理の木に限りなく近づけていけるような技術的なブレイクスルーが必要である。

大断面集成材について

大断面集成材は無垢材と比較し、均質化された強度の製品の大量生産が可能であり、寸法精度も0.5mm単位での安定性がある。また、無垢材では得られない大断面材や湾曲材を得ることも可能である。

集成材の製作は選別前、縦継ぎ時、完成後と細かく全数検査を行っており、接着時のプレス法も細かく使い分けている。品質を保ちつつ、この点の合理化ができればよりコストを下げることができる。

(記・鈴木優輔)

木造建築の魅力と可能性について

林業の課題

木材は様々な問題を抱えているが、中でも深刻なのは、森林産業の経済である。

製材の価格は市場動向によって変動するが、伐採手間、輸送コストなどの経費は変わらない。市場価格の下落に伴い林業事業者の負担となる。

林業従事者のモチベーションの低下、高齢化、間伐施業の停滞等による「林業は儲からない」という閉塞感の悪循環から改善する「新しい流通システム」の構築が必要である。

森林資源の活用

長野県大野市では面白い試みが行われている。

北アルプス山麓に広がる300haの森林で、樹の上に木造住宅の施工を体験できるというものだ。

構造種別は在来軸組工法で、105角の柱や12mmの構造用合板等が用いられる。

毎年夏には多くの学生たちで賑わい、指導者の下、施工をして余暇を「樹の上」で過ごす。

木造建築物の可能性

オーストリア、ブレゲンツでは現在、9階建ての木造ビルが建設中である。海外では昨今、多層の木造建築が身近なものとして普及してきている。

一方、我が国では木造建築は低層までであり、技術者も少なく需要も停滞している。

「奈良の木」が奨める品質認証による強度の基準化、法規制の緩和、技術者の育成を図れば、木造の高層化は実現し木材の需要は激変するのではないだろうか。

木材は今後の建築に向けて大いに期待が持てる建築材料である。

(記・上村孝友)



桜井市木材振興センター（あるぼー）



お知らせ

Information

●2012高校生の「建築甲子園」奨励賞を受賞

(公社)日本建築士会連合会主催の第3回大会は、県内予選を経て本大会の審査結果が発表され、奈良県立吉野高等学校西畑正軌君の「吉野川を愛でる家」が受賞しました。

この表彰のため、福本良平会長が事務局長を伴い吉野高等学校を1月17日(木)に訪問して、山本雅章校長をはじめ、受賞者に表彰状と副賞を伝達しました。

なお、受賞作品の他、奈良県立朱雀高等学校からも応募され、それぞれ、吉野川や明日香、大和郡山の地域特性を生かした力作でした。

●おめでとうございます。

平成24年度一級建築士試験 合格者一覧 (敬称省略)
43名 (奈良県)

向井 宏行	山本 将之	中島 咲紀	戌亥 正敏
大久保聡子	中尾 聡	田淵 恵子	寺村 雄機
山田 達也	叶井 庄司	森川 直樹	乾 恒善
下東 信行	藤本 和宏	村上 訓士	前田 龍紀
吉岡 秀樹	北岡 賢	岸本 亮	小林 勝
伊東 大祐	井上 大輔	上久保慶知	佐藤 真樹
安東 靖訓	松本 丈範	川崎 良一	森本 和貴
今井 雄介	森田 恵介	芦高 典代	笠野 朋哉
吉田 充	森 貞潔	齋藤 清貴	弓場 賢吾
井久保政嗣	徳矢 誠三	筒井 智久	乾 慶次
奥村 元基	志垣 智子	西村 武志	

平成24年度二級建築士試験 80名 (奈良県)

平成24年度木造建築士試験 4名 (奈良県)

●女性委員会より「国宝『如庵』を訪ねて」のご案内

- 1 開催日 平成25年3月17日(日)予定
- 2 行 先 愛知県・岐阜県
- 3 参加費 3,000円

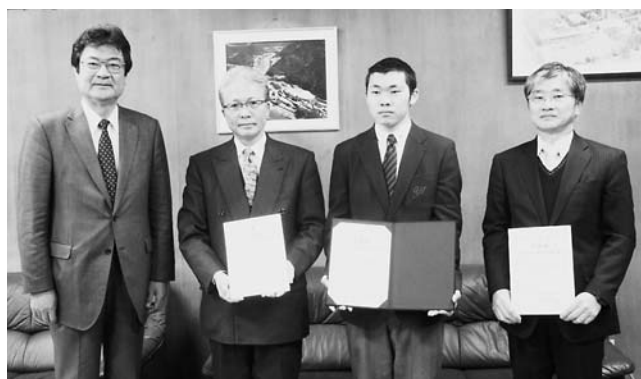
※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

●橿原支部 会員増強を兼ねた研修旅行

橿原支部では研修及び会員相互の交流を目的とした研修会を下記の日程で行います。皆さん振るってご参加頂きますようお願い申し上げます。

日 時：平成25年3月24日(日) 7:45~19:00

見学先(予定)：K.K.ノヴァエネルギー、道の駅うずしお、



福本会長 山本雅章校長 西畑正軌君 鍵本光弘科長

K.K.タツミ瓦、たこせんべいノ里

参加費：会員：3,000円・学生：1,000円・

賛助会員：3,000円・会員外：3,000円

締 切：平成25年3月9日(定員38名 先着順)

※詳細、申込は奈良県建築士会ホームページをご覧ください。

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏 名	支部	〒	住 所 (自宅)	勤 務 先
川 上 善 昭	天理	632-0078	天理市杉本町297-4	工匠川上
村 木 敬	奈良	630-8444	奈良市今市町845-33	村木建設
江 藤 由 梨	橿原	639-0251	香芝市逢坂7丁目204-5-G棟202号	株崎山組
國 島 大 希	橿原	639-0222	香芝市西真美3-14-14	株崎山組
山 根 聡 一 郎	橿原	634-0804	橿原市内膳町4丁目8-34 サントピア105	株崎山組

編集後記

新年が明けたのがついこの間の
ように思えるくらい、1月はあっ
という間に過ぎて行ってしまいました。
2012年は各国の首脳が相次
いで交代し、日本でも年末の総選
挙で民主党政権から自民政権に
移り、2013年は新体制のもと政
治・外交・経済面はもとより、我々
建築士の仕事環境も大きく変化し
ていく年だと想像しますが、皆様
は良いスタートダッシュが切れま
したでしょうか？

私は郡山支部の澤田さんに替わ
り、2012年度より土会奈良の情
報・広報委員会に参加しておりま
す。担当役員の中尾副会長や福西
委員長をはじめ、皆様の精力的な
活動に感心しながら9ヶ月が経ち
ました。

実は、平成11年に建築士登録し
た際に一度は建築士会に加入しま
したが、全く活動に参加する機会
もなく数年で退会したことがあり

ました。一昨年、郡山支部の有志
の方々が町家の調査を行っている
ことを知り、自分自身の日頃の関
心と合致したことから再び参加す
ることにしました。参加してみ
ると、年配の方が多いことに最初
は戸惑いましたが、皆さん気さく
に接して下さり、同じ支部の仲
間として楽しく活動させてもら
っております。

昨年末には新たに一級・二級・
木造建築士の合格者が発表され、
1月27日には東大寺にて合格者の
方々を対象とした見学会と祝賀会
が開催されるようです。支部の活
動や委員会活動に新しい仲間が加
わることは、会員の一人としてと
ても楽しみにしております。同時
に、今年の干支「巳」のように、
冬眠から目覚めたヘビのごとく、
久しぶりに建築士会の活動を始め
る方もいるといいかも。

(記・折目貴司)

土会奈良

通巻586号

平成25年2月1日(発行毎月1回1日発行)

発行所 社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 福本良平
編集 (社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

Calendar

2013年2月

1(金)	友引
2(土)	限界耐力計算講習会(奈良市ならまちセンター) 奈良県地域文化財専門家育成講習会
3(日)	仏滅
4(月)	大安
5(火)	赤口
6(水)	1,2級及び木造建築士合格者 交流会(嘉雲亭)
7(木)	友引
8(金)	先負
9(土)	第20回近畿あーきてくと2013 地域実践活動発表会
10(日)	先勝
11(月)	● 建国記念の日
12(火)	先負
13(水)	仏滅
14(木)	大安
15(金)	赤口
16(土)	先勝
17(日)	友引
18(月)	先負
19(火)	仏滅
20(水)	大安
21(木)	第4回一級・二級・木造建築士定期講習赤口
22(金)	先勝
23(土)	友引
24(日)	先負
25(月)	仏滅
26(火)	大安
27(水)	赤口
28(木)	先勝
3/1(金)	友引
2(土)	先負
3(日)	仏滅
4(月)	正副会長会
5(火)	赤口
6(水)	先勝

Steel Framing EXPERT

弊社は創業以来、「ものづくり」の精神を忘れることなく、1年、3年、5年先を見据えた「先見力」、
経験により積んできた実績「技術力」、新しい手法で付加価値を提案できる「創造力」、常に輪を大
切にし、一丸となって出来る「人間力」、そしてあらゆる依頼にも応えみせず果敢にチャレンジする
「対応力」この5つの力(UEGAKI "circle" FIVE)を発揮し、「エンドユーザーの立場に立ち、
良品質な鉄骨を提供する」ことを第一に考えております。

UEGAKI "circle" FIVE

先見力

時代の動きをいち早くキャッチし、
タイムリーに実行する行動力

技術力

長年培ってきた当社独自の技術力と
ノウハウ、既存技術のレベルアップ

人間力

上柿鉄工建設の誇りは、「人が企業を創る」
「人のパワーが企業のパワー」という
信念から生まれたチームワーク

創造力

不可能を可能に変えながら、夢を現実に変えていく。
21世紀の建築の世界へ、新たな付加価値を
提案しつづけていきます。

対応力

経験、実績を基に、どのような物件の依頼が来ようとも、
尻込みすることなく、可能な限り対応し、ワンランク上の
仕事に果敢に挑戦していきます。建築鋼造物工事
総合建設

上柿鉄工建設株式会社

奈良県磯城郡田原本町笠形141-1 Tel.0744-32-8024 Fax.0744-33-6334
<http://www.uegaki-steel.jp/>